

3D（出来る・大丈夫・大成功）教育プログラムについて

「大学全入時代」が到来し、転換期の今、再び「何のために学ぶのか」を問い直すことが非常に重要になってきたと思います。

一方、少子化や経済状況の変化によって、「生き残りをかけた、学校の競争」も益々激しくなってきました。21世紀は、本物志向（本物だけが生き残る）の時代だといわれていますが、「生徒や保護者が本当に満足する学校」だけが生き残っていくのだと思います。

教育の目的（子どもの幸せ）を達成するための『KA教育3D（出来る・大丈夫・大成功）作戦』を具体的に学習プログラム化したものが「3D教育プログラム」です。

『3D教育プログラム』は、「エゴグラム診断」により、生徒が自分を知り、その後、ロング・ホームルーム、総合的な学習の時間、道徳の時間を利用した授業の中で、「グループコミュニケーション」を通じ、エゴグラムの各要素を高める（高いACは下げる）とともに、現在、中学生・高校生が不足しているといわれている、「コミュニケーション能力」や「論理的思考力」を身につけるために、開発されたプログラムです。

また、この「グループコミュニケーション」は、AO入試・推薦入試等、大学受験の小論文対策やディベート対策、あるいは面接対策にも大変役立ちます。

あわせて、修学旅行の事前学習プログラムとしても活用できます。

さらに、生徒の成長度合いについても、再度「エゴグラム診断」を実施することによって、測定することができる場所に、大きな特長を持っております。

『3D教育プログラム』の最終目的は、生徒自身が自らの長所を伸ばし、短所を改善することによって、21世紀の厳しい時代にあって、社会の求める人財となっていくことあり、また学校からみれば、生徒一人ひとりを社会が求める人財に育成していくことにあります。

学年によって活用されているプログラム内容

学年	プログラムの主な内容
中学1年次	自己理解と目標設定
中学2年次	自己成長と他者理解
中学3年次	自他肯定
高校1年次	向上心・思いやりの心・冷静な判断力等を高める
高校2年次	進路実現のための基礎プログラム
高校3年次	進路実現のための実践プログラム

生徒が「エゴグラム診断」によって、自分自身を知り、「グループコミュニケーション」を通じて、「コミュニケーション能力」や「論理的思考力」を高め、自身の長所を活かしながら、社会で活躍できる人財になっていくことをKA教育は心より期待し、応援します。